



あおもり 町連だより

第204号

平成28年7月発行

青森市町会連合会

TEL 017(734)2584
FAX 017(734)2587

28年度
定時総会

住みよい地域づくりに一丸

全議案承認、会長に加川氏を再選

青森市町会連合会は5月31日（火）午後1時からホテル青森で平成28年度定時総会を開き、町会長236人が出席、全議案を原案通り承認し、役員改選で会長に加川幸男氏（白旗野）を再選しました。

総会は松本勝義常任理事が司会を務め、木村眞一副会長が開会を宣言。物故者に黙祷をささげた後、加川会長があいさつに立ち、各町会長の日ごろのコミュニティー活動等への尽力に敬意を表した後、「少子高齢化などで地域における人と人とのふれ合い、支え合い、助け合いがますます重要になっており、問題も複雑、多様化している。個人の方では解決できない問題、課題を解決するため地域の組織が一丸となって、元気なまちづくり、明るく住みよい地域づくりを目指した活動を推進してまいります」と基本方針を述べました。

次いで、長年町会運営に貢献して退任した町会



236人が出席して開かれた28年度定時総会

長28人、優良町会員147人、功労団体1団体を表彰（3面に掲載）し、受賞者を代表して川合幸男氏（浪館浅井）が謝辞を述べました。

続いて、来賓の鹿内博市長、中村節雄市議会総務企画常任委員長、成田壽人青森警察署地域官が、各町会長のまちづくりや福祉向上に対する日ごろの尽力をたたえる祝辞を述べ、同じく来賓として出席した浪岡町内会連合会の伊藤芳男会長が紹介されました。

この後、加藤恒雄常任理事を議長に選出して議

事に入りました。

議事はまず、議案の27年度事業報告について各部会長が報告、27年度収支決算等について今正義事務局長が報告した後、出席者から①青函ツインシティ交流研修会では、どのようなことを話題に話し合っているのか、紹介してほしい②収支決算書に昨年度総会の総支出が掲載されていない理由は③総会費を別会計にしているのであれば、そ

（2面へ続く）

紙面紹介

- | | |
|----|--|
| 2面 | 28年度事業計画 |
| 3面 | 退任町会長、優良町会員、功労団体を表彰
28年度事業計画（2面からの続き） |
| 4面 | 群生するミズバショウ
幸畑ヒルズスノーフェスティバル |



各部会の事業計画を説明する部会長

れをどのような方法で公表しているのか④アパート住民の町会費徴収が難しい。不動産業者や家主と協議して、賃貸料に町会費を含めるようにできないか」と質問があり、担当部会長、今事務局長が説明をした後、原案通り承認しました。

引き続き、28年度事業計画、収支予算案について審議、出席者から①28年度収支予算案は、前年

度の予算比でなく実績比で立案したほうがいいのではないかと②繰越金の額のずれを解消したほうがいいのではないかと質問があった後、担当部会長、事務局長が説明し、原案通り承認しました。

この後、任期満了に伴う役員の変更が行われ、会長に加川氏を再選、次の方々を役員に選出しました。

- 副会長＝木村眞一（古館） 倉内一長（岡部） 八戸弘（東片岡） 藤林博（油川横町） 種市勲（中奥野）
- 常任理事＝松本勝義（鴨泊） 天内勝年（沖館第四） 加藤恒雄（浜田ニュータウン） 神山昌則（南後潟） 齊藤裕一郎（横山町） 葛西房子（女性部会）
- 監事＝木村清明（浜田） 江利山正勝（ひばりの） 石澤晋一（博労町）

町会活動の活性化支援 28年度事業計画

基本方針

青森市町会連合会の目的である「各町会の連絡調整と住民の福祉増進を図り、豊かで住みよいまちづくり」のため、活動の推進に努めて参ります。

近年は、地域における人と人とのふれ合い・支え合い・助け合いが重要となっており、また、人口減少・少子高齢化などにより、個人の力では解決できない課題が山積しております。複雑、多様化する地域の課題を解決するため、組織が一丸となって地域を運営していくことが必要であると考えており、町会連合会が「町会活動の活性化支援」を基本とし、市・地区連合町会・各行政機関及び各関係団体と連携し、元気なまちづくり、明るく住みよい地域づくりを目指した活動を推進して参りたいと考えております。

重点目標

青森市町会連合会は「重点目標」の骨子を、町会連合会、地域協議会、地区連合町会、町会が組織一丸となった活動を原点とし、これまでの活動状況とその結果を踏まえ目標達成のため「住んでよかった安心・安全なまちづくり」に、より一層推進することとします。

- (1) みんなで考え、みんなで参加するまちづく

りを進める

- (2) 地域への誇りと愛着心を持ち、生き生きと暮らせるまちづくりを進める
- (3) お年寄りなどが安心して暮らせるまちづくりを進める
- (4) 安全で快適な暮らしができるまちづくりを進める
- (5) 健康づくりの盛んなまちづくりを進める
- (6) 青少年が健やかに育つまちづくりを進める
- (7) 文化の香りがするまちづくりを進める

各部推進事業

総務部会

- ・総会、役員会、部会等各種会議の開催
- ・各部会との連絡調整、行政及び各機関との連絡調整、広報「町連だより」の発刊
- ・市政懇談会、新任町会長研修会、理事研修会、町会長研修会等の開催
- ・安全で安心な、住んでよかった街づくりの促進
- ・地域課題への積極的対応と地域づくり事業の推進

地域振興部会

- ・コミュニティ活動の活性化促進
- ・街路灯の設置及び修繕、道路舗装・側溝整備の要望活動
- ・雪処理事業の充実促進の要望活動
- ・災害に強い地域づくり事業の促進の要望活動

(3面へ続く)

退任した町会長を表彰

功労団体 東片岡町会ボランティア除雪隊

青森市町会連合会は28年度定時総会で、表彰規定に基づき、町会長を退任した24人、優良町会員147人、功労団体1団体を表彰しました。(敬称略、カッコ内は町会名、勤続年数)



長年町会長を務めて退任、表彰された方々



□20年以上勤続し退任

新谷峰三(上三上町、31) 田村清孝(稲元第二、25) 川合幸男(浪館浅井、22) 佐藤利正(京王台団地、20)



謝辞を述べる川合幸男氏

□5年以上20年未満勤続し退任

小山弘康(茶屋町、12) 故・三上聖二(鴨泊団地、19) 葛西重明(南三上町、8) 故・木村晟(西滝、5) 若佐谷正元(西富永、12) 今勝廣(北平岡、13) 神清徳(県営平和台、5) 故・山口一男(戸門、16) 故・幸村正信(大柳辺、15) 高坂重光(新町野、9) 一戸誠司(卸町、8) 故・葛西一二三(信用町、13) 故・須藤喜代行(幸畑阿部野、10) 中嶋修二(みどりヶ丘、8) 風晴文夫(浜田青葉台、13) 齋藤勇治(筒井南、19) 窪田栄一(油川茶屋町、17) 肴倉良昭(日の出、7) 中村勇造(寺町、6) 橋本常也(米町、10) 福原茂恭(鍛冶町、12) 故・川村一夫(橋本南、10) 宮崎明子(パークハイツ安方、12) 對馬一(東旭町、11)

□優良町会員

市川敦子(横山町) ほか146人

□功労団体

東片岡町会ボランティア除雪隊(代表津島清一)

交通・防犯部会

- ・高齢者と子供を守る運動の推進
- ・交通安全関係者会議への参画及び協力
- ・交通安全協会事業と連携した活動の推進
- ・交通安全運動期間中の「のぼり旗」の設置
- ・防犯運動団体等との連携した活動の推進

環境部会

- ・ごみの減量化と資源再使用の促進
- ・指定ごみ袋の利用促進
- ・清潔で地域花いっぱいまちづくりの推進
- ・身近な温暖化対策呼びかけ運動への協力
- ・市等が行う環境啓発事業への参加、協力
- ・廃棄物不法投棄の通報協力

福祉部会

- ・高齢者を励ます活動
- ・地域ネットワーク活動推進事業の促進
- ・町会等が行う福祉事業の支援並びに地域づくり事業の推進
- ・災害時要援護者支援運動
- ・市民生委員・児童委員協議会との意見交換会

女性部会

- ・検診受診勧奨、広報活動
- ・交通安全運動推進・啓発
- ・町会女性役員(リーダー)研修会の開催
- ・町内女性の集いの開催
- ・各地域での消費生活講習会、防災炊き出し調理訓練等の講習・研修会開催の啓発

群がり生える ミズバショウ

「原別地域まちづくりを
進める会」が保護

原別稲荷神社境内裏側3,000平方メートルほどの湿地に群生するミズバショウが今年も、4月初めから咲き出し、訪れた人たちの目を楽しませました。

このミズバショウを宣伝しようと、原別地域まちづくりを進める会

(会長・小笠原正勝泉野町会長)は4月5日(火)、「ミズバショウが咲いています。どうぞご覧下さい」と書かれた看板とのぼり旗7本を神社参道前に設置、神社境内の清掃を行いました。

今年は、雪解けが早かったため、昨年よりミズバショウの見ごろが早まりましたが、5月上旬まで咲いていました。



同会は東部第二区連合町会内の住民、団体で組織。地域の特性を活かした特色あるまちづくりを進める目的で平成23年10月に設立し、ミズバショウの保護活動のほか、地域で収穫した農産物の地産地消と地域住民の交流促進を目的とした大収穫祭、中学生も参加する災害時避難所運営訓練などを開いています。

親子で冬の遊び楽しむ

幸畑団地地区まちづくり協議会

南部五区連合町会内の住民、団体、青森大学で組織する幸畑団地地区まちづくり協議会(会長・大川久志幸畑ひばりヶ丘町会長)は2月14日(日)、青森大学の中庭と6号館を会場に、第2回幸畑ヒルズ・スノーフェスティバルを開き、親子連れなどでにぎわいました。



雪すべり台をすべる子供たち

この日、この時期としては珍しく、最高気温が15度近くにまで上昇、雨も降って、この日に合わせて作った雪像、雪灯籠は崩れてしまいましたが、青森大学中庭に設けられた雪すべり台では子供たちがゴムチューブに乗って次々にすべり降りていました。

6号館「集いのスペース」では、ズグリ回し、福笑いなど昔の冬あそび体験やヨガ教室などさまざまなイベントが開かれ、大勢の住民が参加しました。温かい飲み物、食べ物コーナーも大にぎわいでした。

哀 悼 録

西滝町会長 木村 晟 殿
(平成27年12月1日ご逝去)
戸門町会長 山口 一男 殿
(平成28年1月10日ご逝去)
荒川二区町会長 白取 敏光 殿
(平成28年1月26日ご逝去)
慎んで哀悼の意を表します。

● 編 集 後 記 ●

先の熊本地震で、いまなお避難生活を余儀なくされている人が大勢います。函館でも震度6弱の地震が起きました。実被害を最小に食い止めるために、わが家の対策はどうなっているか。茶たんすなどの転倒防止は。再点検してみましょう。(千)